

## 第1 まちづくりの成果等について

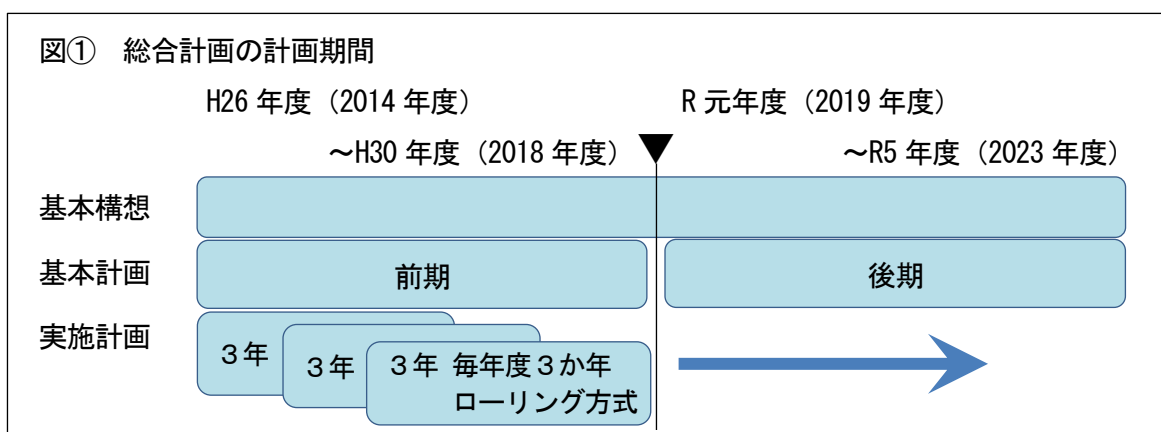
### 1 まちづくり報告書（主要施策報告書）とは

#### (1) まちづくり報告書（主要施策報告書）とは

第6次東海市総合計画は、まちの将来像を見据え、まちづくりの方向性やあり方を示す指針であり、まちづくりを総合的かつ計画的に進めることを目的とした、本市のまちづくりを進める上での最上位計画です。（総合計画の計画期間は、図①参照）

第6次東海市総合計画では、市民が望む10年後のまちの状況を「38のめざすまちの姿」として設定しており、定期的にその成果を、まちづくり指標の推移等により把握することで、本市のまちづくりがどの程度達成されたかを評価しています。

この「まちづくり報告書（主要施策報告書）」は、「38のめざすまちの姿」の実現に向けた取り組み状況（事業の活動結果や決算額）と、その成果等（まちづくり指標等の推移や施策等の評価結果）をまとめたものです。



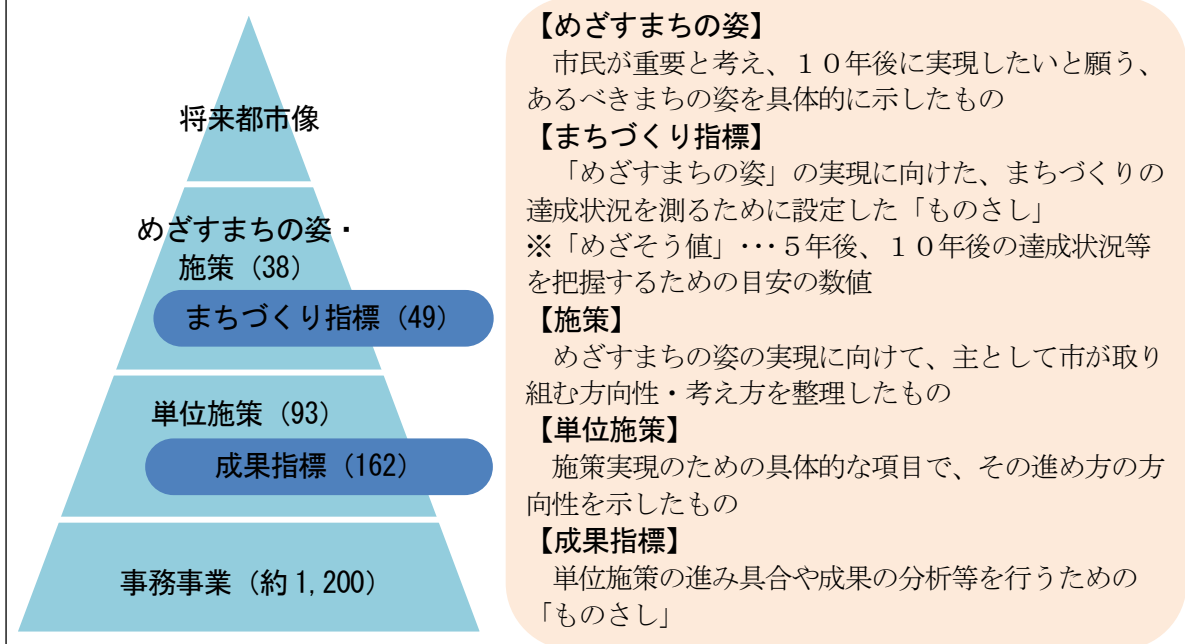
#### (2) 総合計画の構成

第6次東海市総合計画では、少子高齢化や人口減少社会への移行などの社会経済情勢の変化に適切に対応し、市民が望むまちづくりの歩みを一層確かなものとしていくために、「健康づくりと生きがいつくり」などの「まちづくりの課題」を示しています。

こうした、本市の抱えるまちづくりの課題を踏まえ、めざす将来都市像を「ひと 夢 つなぐ 安心未来都市」と定め、この将来都市像の実現に向けて取り組む「6つの分野（章）」と「38のめざすまちの姿」を掲げています。

そして、「めざすまちの姿」を実現するための施策、単位施策、具体的な取り組みでは事務事業が階層的・体系的に整理されています。また、「めざすまちの姿」の達成状況等や、単位施策の成果等を把握するための「指標」を設定しています。（図②参照）

図② 総合計画の体系



### (3) 行政マネジメントサイクルによる総合計画の進行管理

行政評価の考え方を取り入れた第6次東海市総合計画では、「38のめざすまちの姿」の達成状況を測るための「ものさし」として、主に市民アンケートで取得する「まちづくり指標」を設定し、前期基本計画の最終年次である平成30年度（2018年度）と、後期基本計画の最終年次である令和5年度（2023年度）に、達成すべき目標値を定めています。

また、「めざすまちの姿」を実現するための具体的な手段である「単位施策」においても、行政等の取り組みの成果を測るための統計的な指標を中心とした「成果指標」を設定し、まちづくり指標とあわせて、まちづくりの進み具合をさまざまな角度で検証しています。

具体的には、業務担当課は、成果志向の視点に立って、毎年、指標の動向などから、まちづくりの進み具合や施策・単位施策を評価します。

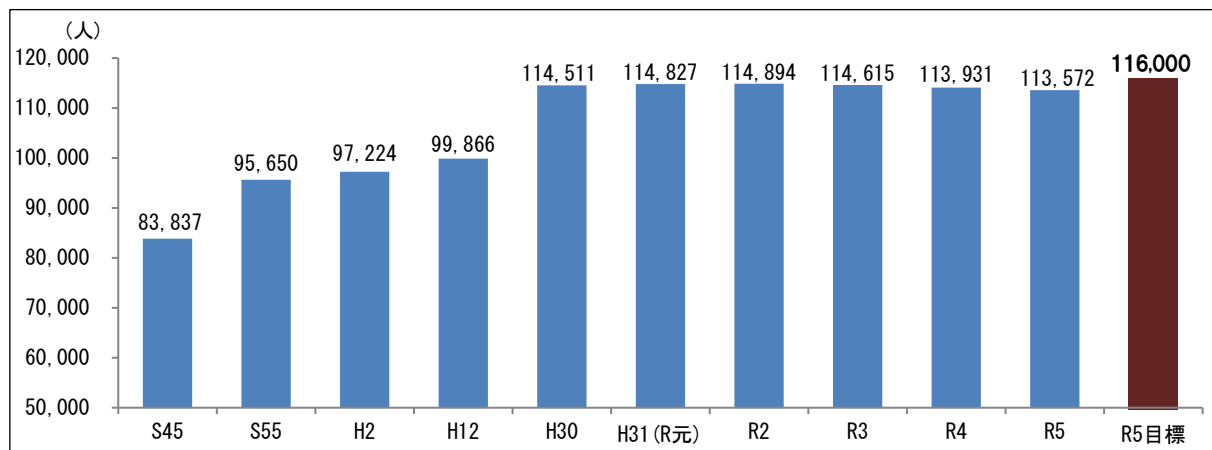
また、まちづくりの進み具合について、有識者、まちづくりを担う多様な主体の代表者などで構成する「東海市まちづくり評価委員会」において、専門的・客観的な視点から評価し、「めざすまちの姿」の実現に向けて、「順調でない」施策などについては、原因分析に基づく改善策を実施することで、目標の達成を目指します。

このように、Plan（計画）→Do（実施）→Check（評価）→Action（改善）のPDCAサイクルを活用した総合計画の進行管理を行い、成果の向上を図ります。

## 2 人口推移と財政状況

### (1) 人口の推移

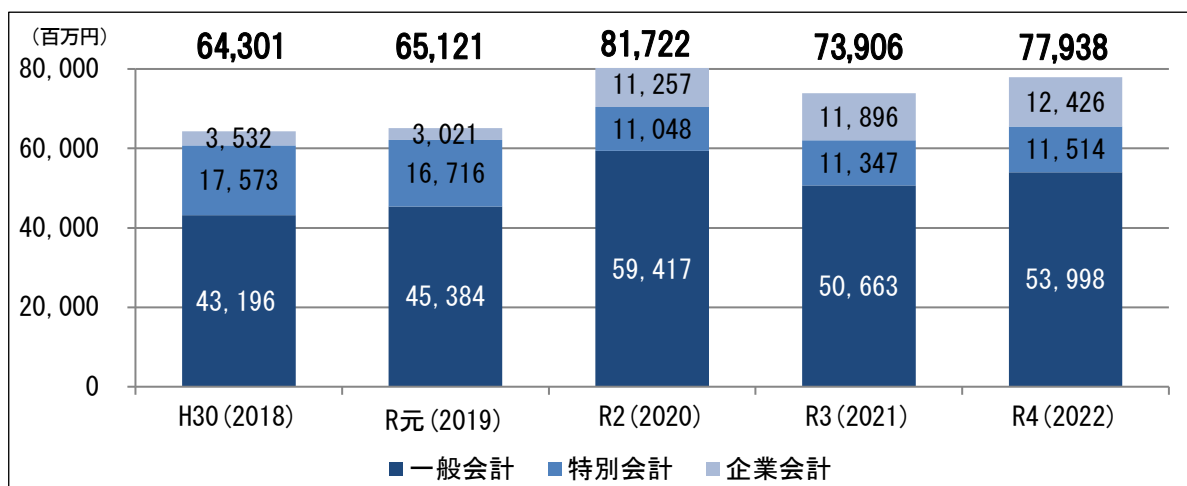
本市の人口は、市制施行前後の急激な人口増加がほぼ終わった昭和49年（1974年）以降、昭和53年（1978年）から昭和58年（1983年）までの期間を除いて微増が続き、平成13年（2001年）に10万人を超えました。平成24年（2012年）には11万人を超え、令和5年（2023年）4月1日現在では、11万3,572人となっています。



### (2) 財政の状況

#### ア 決算額の推移

令和4年度（2022年度）は、新型コロナウイルス感染症対策のため、住民税非課税世帯等臨時特別給付金を始めとした事業の実施、リニアインパクトを活かしたまちづくりを進めるため、新駅及び周辺道路等の整備、子育て支援の充実を図るため、大田保育園の移転新築整備、「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて地球温暖化対策を計画的に推進していくため、地球温暖化対策推進基金を新たに設置するなど総合計画に掲げる「ひと 夢 つなぐ 安心未来都市」の実現に向けて、各種事業を実施し、一般会計の歳出では540億円の決算額となりました。



◆令和4年度（2022年度）各会計の決算

(単位 千円)

区 分		歳 入	歳 出	差 引
一般会計		58,187,434	53,998,384	4,189,050
特別会計		12,091,001	11,514,282	576,719
内 訳	国民健康保険事業特別会計	9,575,590	9,004,964	570,626
	後期高齢者医療事業特別会計	1,654,166	1,649,147	5,019
	太田川駅周辺土地地区画 整理事業特別会計	583,333	583,333	0
	加木屋中部土地地区画整 理事業特別会計	277,912	276,838	1,074
企業会計		10,326,967	12,426,356	△2,099,389
内 訳	水道事業会計	2,718,084	3,298,458	△580,374
	収益的収支	2,355,532	2,250,609	104,923
	資本的収支	362,552	1,047,849	△685,297
	下水道事業会計	7,608,883	9,127,898	△1,519,015
	収益的収支	4,780,612	4,921,879	△141,267
	資本的収支	2,828,271	4,206,019	△1,377,748
合 計	80,605,402	77,939,022	2,666,380	

イ 財政運営指標（普通会計ベース）の推移

財政力の強弱を示すといわれる「財政力指数（3か年平均）」は、堅調な市税収入に支えられ、依然良好な数値を示しています。

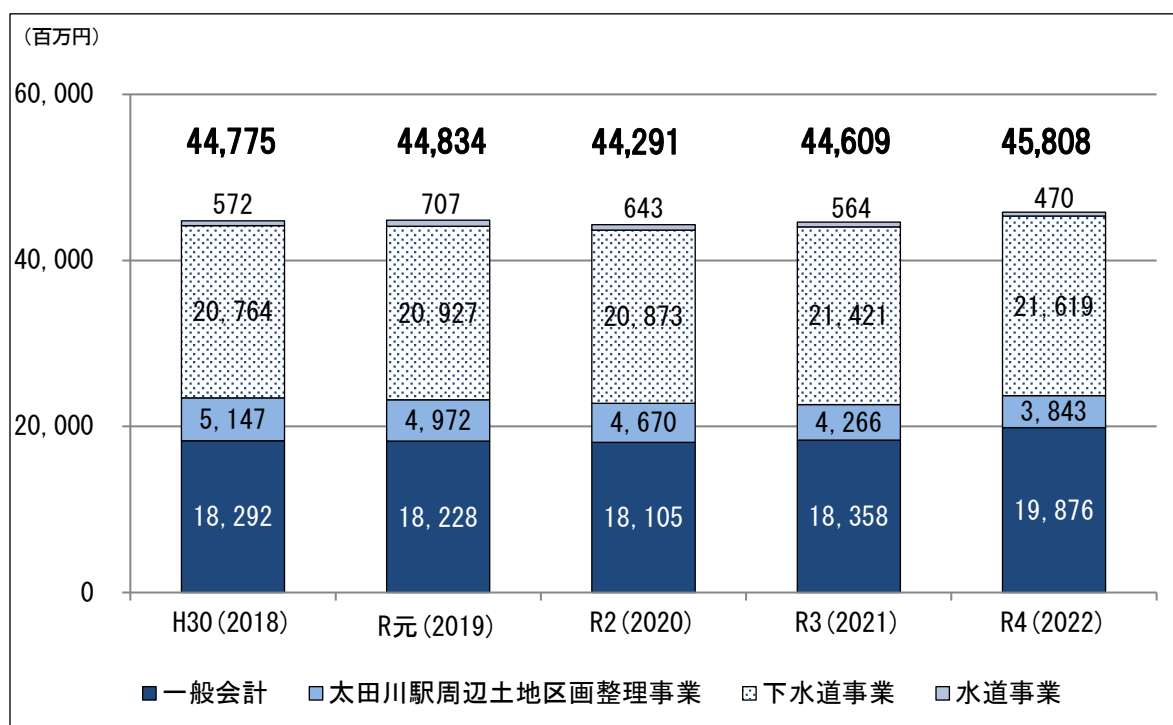
また、財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」は、固定資産税や法人市民税の増など経常一般財源等の増加により改善しました。今後は、扶助費や公共施設の老朽化に伴う維持補修費などの経常経費が増加傾向にあり、これらに充当する一般財源は増加しているものの、市税等の経常一般財源の増加は見込めないことから、数値の悪化が予想されます。

なお、歳出構造の硬直化を示す「実質公債費比率」は、災害復旧費等に係る基準財政需要額の減少に伴い、指標は悪化したものの、依然良好な数値を示しています。

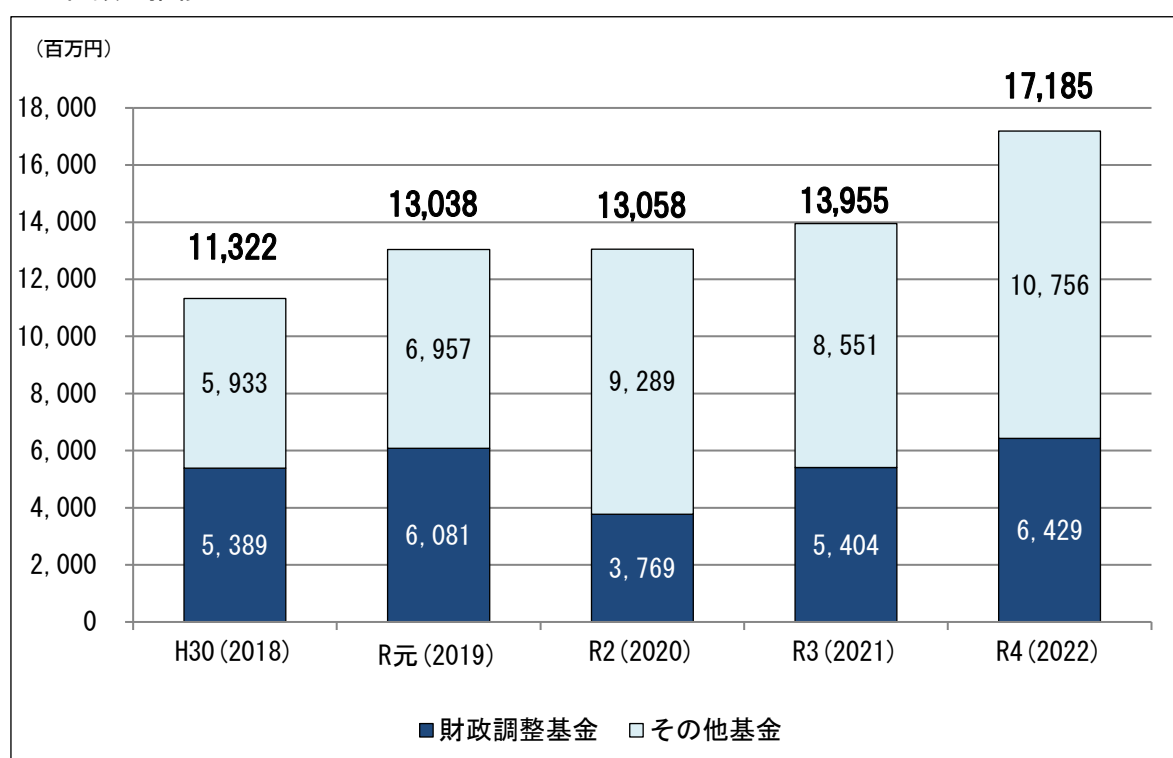
◆財政運営指標（普通会計ベース）

指標区分	H30(2018)	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)
財政力指数（3か年平均）	1.26	1.28	1.29	1.27	1.26
経常収支比率（%）	84.4	83.5	82.7	85.5	82.5
実質公債費比率（3か年平均）（%）	0.0	△0.2	△0.1	△0.3	0.0

◆地方債残高の推移



◆基金総額の推移



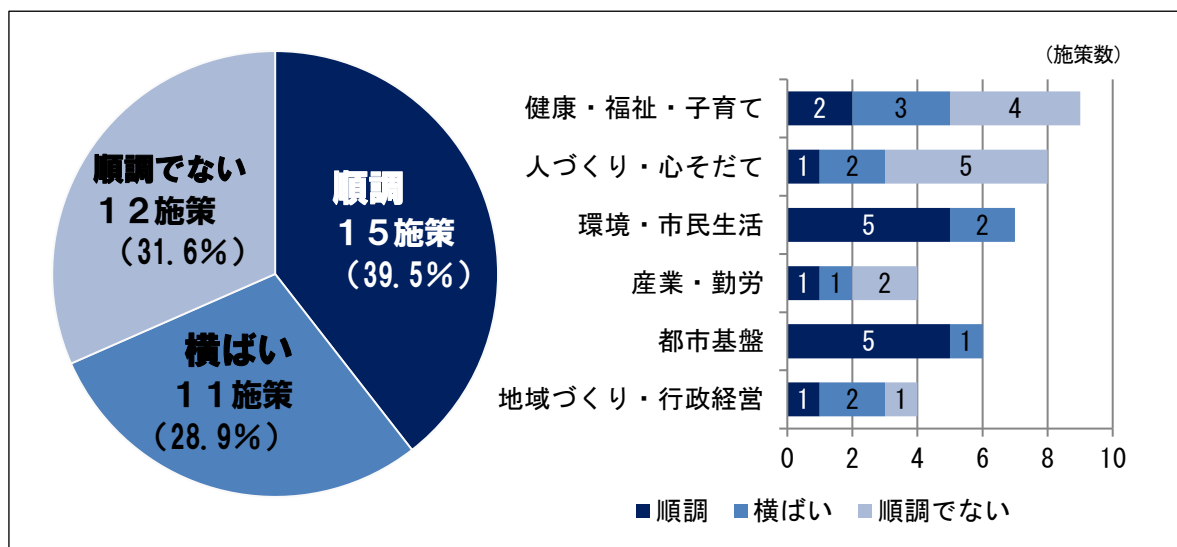
### 3 総合計画に基づくまちづくりに関する評価

#### (1) 施策の成果動向

総合計画に基づくまちづくりについて、まちづくり指標等の動向を踏まえた施策等の評価では、38施策中、15施策（39.5%）が「順調」、11施策（28.9%）が「横ばい」、12施策（31.6%）が「順調でない」という評価となり、環境・市民生活分野、都市基盤分野は「順調」、地域づくり・行政経営分野は「横ばい」、健康・福祉・子育て分野、人づくり・心そだて分野、産業・勤労分野が「順調でない」の評価となりました。

超高齢社会の到来や人口減少社会の進行等に伴い、複雑化・高度化する「まちづくりの課題」に適切に対応し、総合計画に掲げる「38のめざすまちの姿」を実現していくためには、将来を見据えつつ、市民ニーズを適切に把握するなど市民の視点に立った行政運営を行うことが重要であるため、施策の成果等を適切に評価し、原因分析等を徹底するなど、「市民サービスの質の向上」を図っていく必要があります。

#### ◆施策の成果動向の状況



#### (2) まちづくり指標・成果指標の状況

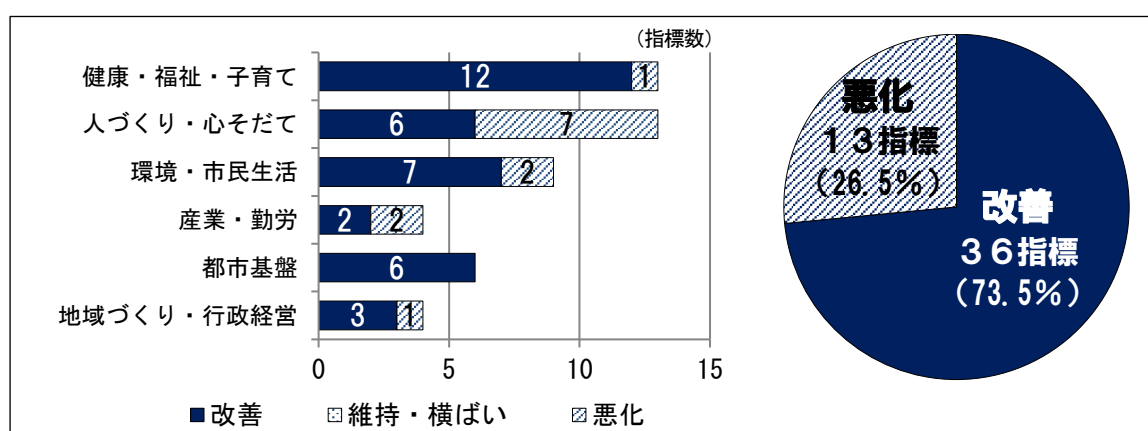
##### ア まちづくり指標の状況

第6次東海市総合計画で設定したまちづくり指標は、全49指標のうち、10年後めざそう値を達成した、まちづくり指標1「健康寿命（男性）」など10指標を含め、36指標（73.5%）が基準値と比較して改善しました。一方、基準値以下となった指標は13指標（26.5%）となっています。

◆ 10年後めざそう値（令和5年度（2023年度））を達成した指標

番号	指 標 名
1	健康寿命（男性）
2	健康寿命（女性）
28	降下ばいじんの量
29	市内の川の水がきれいであると感じている人の割合
32	市民一人当たりのごみの総量
34	交通事故や犯罪の不安がなく、安全に安心して生活できていると思う人の割合
37	魅力ある商店や企業が多いと感じている人の割合
40	自宅周辺が住みやすい場所（所）だと思ふ人の割合
41	子ども、高齢者、障害者などが安全に移動できる道路が整備されていると思ふ人の割合
45	良好な景観が保全され、快適な住環境が整っていると思ふ人の割合

◆まちづくり指標の状況（対基準値）



イ 成果指標の状況

第6次東海市総合計画で設定した成果指標は、全162指標のうち、109指標（67.3%）が基準値より改善しました。一方、基準値以下となった指標は49指標（30.2%）、基準値と比較して維持・横ばいとなった指標は4指標（2.5%）となっています。

◆成果指標の状況（対基準値）

